

第14回 東京学芸大学辟雍会理事会議事要録

日 時：平成28年5月28日（土）14：00～15：35

場 所：東京学芸大学第1会議室（本部棟3階）

出席者：馬淵貞利、丹伊田敏、臼木信子、山本一雄、加藤正克、長谷川正、中村信一、伊藤隆、
柏瀬省五、武藤葉子、竹内仁志、宮地彌典、瀬口卓士、佐藤守、佐藤節夫、小澤一郎、
荒川悦雄、本間久則、松村茂治、田上和子、出口利定

（順不同 敬称略）

開会にあたり、松村茂治幹事長から、挨拶と議事に入るまでの司会を担当する旨説明があった。

1 開会の挨拶

馬淵貞利会長から開会にあたって挨拶があった。

（以下概要）

4月から新会長として、長年務めていただいた鷺山前会長の後を次いで辟雍会の仕事をさせていただくことになりました。どこまでどういう仕事ができるのか、まだ先がよく見えないところがございますが、今まで懸案になっていました会員に対する支援が整備できていないため、現在、学生に対する奨学金制度などを検討しております。また、教職員の会員を増やしていくことも念頭に置いて、出来るだけ多方面に色々なことが出来るような会にしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をいただきたく、是非よろしくお願いたします。

なお、地方の支部については、半分位は出来上がってきていますが、地域によってはまだまだのところがありますので、今年度は中部地区を中心に検討してみたいと考えております。早く全国の支部を整備し、各支部と連携して色々なことが出来るようにしていきたいと考えております。併せてよろしくお願申し上げます。

2 東京学芸大学長挨拶

特別会員の出口利定学長から挨拶があった。

（以下概要）

先程まで、学内で開催中の日本考古学協会総会に出席し挨拶をしてまいりましたが、学芸大学出身者が多数活躍されていることを同会会長から伺いまして、会員の方々には考古学を目指す受験生が東京学芸大学を志願していただくようお願いしてまいりました。

辟雍会はここで会長が変わり、また新しいカラーの辟雍会が出来るのではないかと考えております。やはり同窓会はネットワーク作りが重要だと思っておりますので、地方との懇親を深めて交流を密にさせていただき、熱のあるネットワークを作ることがかなり持続性のあるものにするのではなからうかと思っておりますので、我々としても協力していきたいと思っております。

日頃、同窓会にはお世話になっていることに感謝申し上げ、これからもよろしくお願いたします。

続いて、松村幹事長から配付資料の確認が行なわれ、以降の進行を馬淵会長にゆだねることとした。

また、本日の理事会は定足数に達していることから、理事会として成立していることを確認した。

3 議事

（1）役員を選出及び理事会の構成について

会長から、配付資料1に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

続いて、各出席者から自己紹介があった。

(2) 平成27年度 東京学芸大学辟雍会事業報告及び東京学芸大学辟雍会会費納入者数一覧について
各部部长から、但し、組織部については二宮組織部長が欠席のため、馬淵会長から、配付資料2
「平成27年度 東京学芸大学辟雍会事業報告」に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

引き続き、佐藤総務部長から、配付資料3「東京学芸大学辟雍会会費納入者数一覧」に基づき
説明があり、会長から、今後入会者を増やすことを目標に努力する旨の発言があった。

(3) 平成27年度 収支決算書(案)について

佐藤会計部長から、配付資料4「平成27年度収支決算書(案)」に基づき説明があった。

(4) 平成27年度 会計監査について

田上監事から、配付資料5「平成27年度会計監査報告書」に基づき説明があった。

議事(3)及び(4)について、審議の結果、承認した。

(5) 平成28年度 東京学芸大学辟雍会事業計画(案)について

各部部长から、但し、組織部については馬淵会長から、配付資料6「平成28年度 東京学芸大
学辟雍会事業計画(案)」に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

なお、馬淵会長から、今後の計画として学生の支援制度を今年度中には立ち上げたいこと、学芸
大学の桜が老木になっているので、大学と相談しつつ、桜基金のようなものを作り、全国的に有名
な桜の木を集めて、植え替えていく事を提案したい旨の発言があった。

(6) 平成28年度 収支予算書(案)について

佐藤会計部長から、配付資料7「平成28年度 収支予算書(案)」に基づき説明があり、審議の
結果、承認した。

(7) 東京学芸大学辟雍会会則の一部改正(案)について

佐藤総務部長から、配付資料8「東京学芸大学辟雍会会則の一部改正(案)」に基づき説明があり、
審議の結果、附則の一部修正を確認し、承認した。

(8) 東京学芸大学辟雍会会長候補者推薦規則の一部改正(案)について

佐藤総務部長から、配付資料9「東京学芸大学辟雍会会長候補者推薦規則の一部改正(案)」に基
づき説明があり、審議の結果、承認した。

(9) 支部の設置について

馬淵会長から、配付資料10「東京学芸大学辟雍会宮崎県支部(宮崎辟雍会)規約(案)」に基
づき説明があり、審議の結果、承認した。

(10) その他

出席者から以下のとおり意見等があった。

- ・広報に関して、ホームページの中で、各支部の活躍が分かるように工夫していただきたい。
- ・全国で活躍した卒業生を表彰し、ホームページに掲載するなどの方法で宣伝できないか。
- ・新しく桜の木を植えることは、各支部にもお願いして全国にある固有の桜を集めてもらいたい。
- ・支部の連絡先一覧は、すぐに見ることができるようホームページへの掲載をお願いしたい。
- ・辟雍会の取り組みが良く分かるリーフレットのようなものを作っていたらと支部拡大に活用できる。

- ・ 1年間の活動報告の発信方法を考えてもらいたい。
- ・ 大学が辟雍会と一緒に考えていくことが大事ではないか。
- ・ 辟雍会への勧誘に際しては、入会のメリットを聞かれることが多い。また、個人情報の関係で、むやみに連絡をするのが難しいことが多い。

4 報告事項

(1) 全国代表者会議の開催について

松村幹事長から、平成28年度全国代表者会議開催日程について、平成28年11月5日（土）を予定している旨の報告があった。

5 閉会の挨拶

臼木副会長から閉会の挨拶があった。

(以下概要)

今日は、次の新しい一步をどういうふうに開いていくかという、建設的で具体的な窓口が出来たような話し合いだったと思います。

また、入学生がすぐに会員になるのが難しい時代になったのだと思いますが、地方に戻られても新会員をなかなか誘えない現状があり、人の繋がりの中で会員を集めたことも多く、名簿上だけでなく、卒業生同士の繋がれる場所をだんだんに広げていくことで頑張っていきたいと思っています。

桜の木が全国からどのような形で集まってくるのが楽しみですし、平成28年度の活躍が、来年の理事会で集まった時に、どのような話し合いに繋がっていくかも楽しみです。一年間、繋がりを大事にしながら辟雍会の活動が進められたらよいと思います。

今日はとても広がりのある話し合いが出来たと思います。

ありがとうございました。